

画期的なフックで確実に固定できる

○税込価格:2625円
○REPORT:大屋雄一
○PHOTO:飛澤慎、編集部
○ジャペックス <http://www.japex.net/>
○03-3773-7633

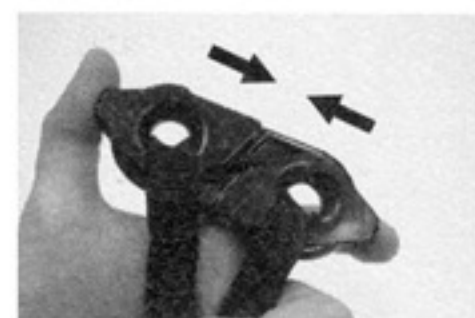
HOT ITEM SPECIAL TEST

リンクスフックス 荷物固定コード

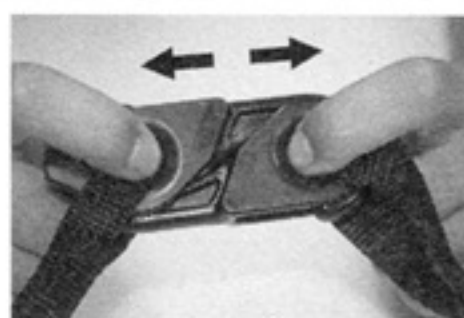
'12年に創業したリンクスフックス社のドローコードを紹介しよう。ポイントは両端の大きなフックで、いくつも接続できるなど幅広い使い方が可能だ。



↑カラーは黒(リフレクター入り)、青、赤、緑、カモグリーン、ピンク、オレンジの7種類。2本セットでの販売だ。



↑外すときは両端を押し込むだけ。カチッと音が出て簡単に2つを分離できる。



↑フック同士の接続は、前後に引っかけてからカチッと音が聞こえるまで引く。

このフック、グラブパーやタンデムステップステアーなどに引っかけるもよし、根元のナイロンループを荷かけフックに巻き付けるもよしと、この辺りは見た目通りなので誰もが使い方を思い付くだろう。そして、このフックが画期的なのは複数をつなげられるということだ。この方法をバイクで利用するにはストラップがやや長すぎる感があるものの、フック同士が確実につながられるというのは安心感が高い。カラーは全部で7種類。アウトドア全般で重宝するドローコードだ。

アメリカのアイダホ州に本社を置くリンクスフックス社は、'12年に創業したばかりの新しい企業で、この荷物固定コードを製品化するために興されたメーカーといっても過言ではない。この商品は、幅広いゴムとナイロンベルトで構成され、そのつなぎ目にはバックルが設けられる。'13年2月号で紹介したロックストラップの製品もこれと共通で、しかも幅広ゴムは同社のものを流用している。ゆえにこの2つの会社のドローコードは非常に似ているのだが、大きく異なるのは両端部分だ。ロックストラップの方は簡素なループ形状なのに対し、リンクスフックスの方には大きな樹脂製フックが付いている。これが最大のポイントだ。

慣れてさえしまえば
荷造りが楽チンに



↑ゴムとナイロンベルトのつなぎ目にあるバックル。ここでベルトの長さを調整するとともに、荷物を降ろしたい時にすぐ外すことができる。



↑信頼性の高いロックストラップ社のゴムベルトを使用。1本あたりの最大耐荷重は9kgで、表面は耐候性のポリエステルで保護されている。



↑これを繰り返して輪になるようにつなげれば完成。上は4つのフックを接続した状態で、設計的には何個でもつなぎ合わせられるとのこと。



↑3つ以上のフック同士をつなぐには、まず片側のフックを写真のように引っかける。このとき、ベルトの方向を整えておくと後々困らない。